

北九州市環境基本計画 進捗報告
(令和4年度実績)

北九州市環境局

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由		
					指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)			決算額 (千円)	
1	⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑰	地球温暖化対策推進事業	グリーン成長推進課	令和3年8月に改定した「北九州市地球温暖化対策実行計画」に掲げた目標の着実な達成に向け、市民、事業者、行政がこれまで以上に計画的かつ効果的に取組を推進する必要があるため、各種調査及び啓発事業の強化等を行う。	温室効果ガス排出量の削減（万t）	温室効果ガス排出量1,859万t（2013年度）	目標 単年度目標設定なし	実績 —	達成率 —	単年度目標設定なし	2030年度温室効果ガス排出量2013年度比47%減	9,851	7,846	4,038	順調	温室効果ガス排出量については、毎年減少傾向を維持している。 また、出前講演の参加者数（累計）が目標（5,250人）を達成するなど、市民に対し、年間を通じた啓発事業を実施した。 以上を総合して、「順調」と判断。
2	⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑰	「脱炭素ライフスタイル」転換推進事業	グリーン成長推進課	令和3年8月に改定した「北九州市地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素社会の実現に向けて市民・企業向けの情報プラットフォームを整備し、「脱炭素社会」のイメージと方法・効果の共有を図るとともに、取組事例や効果を可視化し、家庭・企業の脱炭素型ライフスタイルへの転換を進めるもの。	温室効果ガス排出量の削減（万t）	温室効果ガス排出量1,859万t（2013年度）	目標 単年度目標設定なし	実績 —	達成率 —	単年度目標設定なし	2030年度温室効果ガス排出量2013年度比47%減	6,612	3,500	532	順調	温室効果ガス排出量については、毎年減少傾向を維持している。 また、ポータルサイトを通じて情報発信を強化した結果、アクセス数（累計）が目標（15,000件）を達成した。 以上を総合して、「順調」と判断。
3	⑫	広げよう食品ロス・生ごみ削減の環づくり事業	循環社会推進課	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動の普及・啓発や、生ごみリサイクル講座等の実施によって、生ごみの減量化・資源化を推進する。	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g（R1年度）	目標 単年度目標設定なし	実績 462 g	達成率 —	単年度目標設定なし	440g以下（R7年度）	7,047	7,800	6,354	順調	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動を継続して実施し、食品ロス削減の取組実施率は、中期目標の概ね8割程度達成しており、市民の環境意識向上や、生ごみの資源化・減量化の促進に貢献していると考えられることから、「順調」と判断。
			市民アンケート調査における3R活動の実施率	86.9%（H28年度）	目標 86.9 %	実績 85.7 %	達成率 98.6 %	単年度目標設定なし	86.9%（毎年度）							
			市民アンケート調査における食品ロス削減の取組実施率	58.3%（R1年度）	目標 —	実績 61.6 %	達成率 —	単年度目標設定なし	80%以上（R12年度）							

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度		中期 目標	決算額 (千円)			予算額 (千円)
4	12	3R活動推進事業	循環 社会 推進 課	事業所に対する一般廃棄物の減量化等の推進及び3R活動を行う団体の表彰等により、3R活動の推進を図る。	一般廃棄物のリサイクル率	28.0% (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	30%以上 (R7年度)	1,188	609	1,111	順調	事業所へのごみ減量化に関する講習会の実施や、ごみ分別・減量化意識を高める取組を行った。 3R活動実施率は、令和3年度に比べ上昇しており、3R意識の向上が進んでいると考えられるため、「順調」と判断。
						実績	27.9 %	26.6 %							
						達成率	—	—							
					市民アンケート調査における3R活動の実施率	86.9% (H28年度)	目標	86.9 %	86.9 %	86.9% (毎年度)					
						実績	85.7 %	87.6 %							
						達成率	98.6 %	100.8 %							
5	12	古紙・古着リサイクル推進事業	循環 社会 推進 課	一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、古紙・古着回収奨励金の交付等を通じ、市民団体による集団資源（古紙・古着）回収活動を支援する。	市民1人あたりの年間古紙回収量	50.1kg (H21年度)	目標	単年度目標設定なし	第2期循環社会計画に準拠	147,183	208,944	135,349	順調	近年、古紙・古着の集団資源回収量は若干減少気味であるが、古紙については紙の使用量の減少も影響していると考えられる。 まちづくり協議会の参加率は100%を維持しており、地域の活動は継続されていることから、「順調」と判断。	
						実績	30.4 kg								
						達成率	—								
					古紙回収に取り組むまちづくり協議会数	132団体 (H26年度)	目標	137 団体	137 団体						全137団体の参加 (毎年度)
						実績	137 団体	137 団体							
						達成率	100.0 %	100.0 %							
					一般廃棄物のリサイクル率	28.0% (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし						30%以上 (R7年度)
						実績	27.9 %	26.6 %							
						達成率	—	—							

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 （千円）	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 (千円)			決算額 (千円)
6	⑨ ⑫ ⑬ ⑭ ⑰	北九州市プラスチックスマート推進事業	循環社会推進課	国の動向と歩調を合わせながら、これまでの取組に加え、更なるプラスチックごみの資源循環に向けた施策を推進する。	プラスチック製容器包装の分別協力率	44.4% (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	60%以上 (R12年度)	30,332	38,000	23,513	順調	令和4年4月施行のプラスチック資源化促進法への対応に向けて、2度目のプラスチック一括回収の実証事業を実施し、市内全域で事業開始に向けて、方針決定などに取り組んだ。 また、プラスチックごみ対策専用ウェブサイトのレイアウト改善や、講演・イベントでの市民啓発などを強化した。 以上を総合して、「順調」と判断。
						実績	45.6 %	44.5 %							
						達成率	—	—							
					市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	440g以下 (R7年度)					
実績	452 g	452 g													
達成率	—	—													
7	⑫	地域特性型（メニュー選択方式）市民環境活動推進事業	循環社会推進課	地域団体等が自主的に活動する事業（剪定枝リサイクル等）を支援することにより、地域における自主的な環境活動の拡大と地域コミュニティ活動の活性化を図る。	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	440g以下 (R7年度)	8,238	9,405	9,715	順調	市民1人一日あたりの家庭ごみ量は集計中であるが、減少傾向である。 また、3R活動の実施率も高い水準を維持しているなど、環境意識の醸成及び地域コミュニティの活性化につながっていると考えられる。 以上を総合して、「順調」と判断。
						実績	462 g	452 g							
						達成率	—	—							
					市民アンケート調査における3R活動の実施率	86.9% (H28年度)	目標	86.9 %	86.9 %	86.9% (毎年度)					
						実績	85.7 %	87.6 %							
						達成率	98.6 %	100.8 %							

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由		
					指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)			決算額 (千円)	
8	⑪ ⑫ ⑭ ⑮	まち美化等啓 発事業	業務課	北九州市空き缶等の散乱の防止に 関する条例（まち美化条例）に基づ き、ポイ捨てのない清潔で美しいま ちづくりを推進するため、市民や企 業、ボランティア団体等と連携し、 まち美化事業を実施する。 市民の環境美化に対する関心及び モラル・マナーの向上を図り、「世 界の環境首都」に相応しい清潔で美 しいまちづくりを推進する。	まち美化ボランティ ア清掃参加者数（単 年度）	現状値	131,314 人 (H28年 度)	目標	138,000 人	138,000 人	138,000 人 (毎年度)	3,304	3,578	3,145	順調	新型コロナウイルス感染症への社会の 対応が変化する中、ボランティア清掃参 加者数は戻りつつある。一方で、春の “クリーン北九州”まち美化キャンペ ーン事業のごみゼロ清掃において雨天中止 の会場があった影響により、「まち美化 ボランティア清掃参加者数」の目標達成 率は55.5%にとどまった。 他方、「アンケート調査における地域 でのまち美化清掃実行の割合」は、多く の市民がまち美化ボランティア清掃に参 加するなど、一定の成果を収めている。 以上により、各成果指標の目標達成率の 平均が60%以上となったため、「順調」 と判断。
						実績	64,055 人	76,620 人								
						達成率	46.4 %	55.5 %								
					アンケート調査にお ける地域でのまち美 化清掃実行の割合	現状値	47% (H28年 度)	目標	60 %	60 %	60% (毎年度)					
						実績	41.6 %	41.8 %								
						達成率	69.3 %	69.7 %								
9	⑪	ボランティア ネットワーク の推進（道路 サポーター）	道路計 画課	市が維持及び管理する道路におい て、道路清掃・美化などのボラン ティア活動を行う地域の団体を対象 に、清掃用具や花苗の支給などに より支援する。	道路サポ ーター加入 団体数	—	目標	240 団体	245 団体	250団体 (R5年度)	18,613	17,046	16,613	順調	令和4年度の実績は、254団体であり、 中期目標で設定した250団体を上回っ ているため、「順調」と判断。	
						実績	237 団体	254 団体								
						達成率	98.8 %	103.7 %								
10	⑪	ボランティア ネットワーク の推進（公園 愛護会）	公園管 理課	10名程度の地域住民で組織される ボランティア団体で、公園の美化活 動・公園施設の点検や禁止行為の連 絡・公園利用者のマナーづくり・市 民花壇づくりなどを行い、活動面積 に応じて活動費を助成している。	公園愛護 会の結成 数	—	目標	1,160 団体	1,160 団体	1,160団 体 (毎年度)	43,451	42,616	42,627	順調	コロナ禍や高齢化により解散する団体 はあるものの、全体としては目標の団体 数を概ね達成しており、「順調」と判 断。	
						実績	1,150 団体	1,121 団体								
						達成率	99.1 %	96.6 %								

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						R3年度 決算額 （千円）	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由		
					指標名等	現状値 （基準値）	R3年度		R4年度			中期 目標	予算額 （千円）			決算額 （千円）	
11	①	ボランティア ネットワーク の推進（河川 愛護団体）	水環 境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。 また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	—	目標	73	団体	67	団体	67団体 (R5年度)	2,122	2,634	2,100	順調	概ね目標に近い団体数が活動しており、「順調」と判断。
							実績	61	団体	60	団体						
							達成率	83.6	%	89.6	%						
12	④ ⑱	NPO・市民活動 促進事業	市民 活動 推進 課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	サポートセンター利用者数	29,293人 (R1年度)	目標	20,000	人	20,000	人	20,000人 (毎年度)	16,939	17,434	16,524	順調	令和3年度以前に、緊急事態宣言の発令に伴う臨時休館等により、大きく減少したサポートセンターの利用者数は回復基調にあり、新規設立NPO法人数も概ね目標を達成した。以上のことから、「順調」と判断。 講座については、引き続きオンライン参加も可能なハイブリッド型として講座実施の維持に努めた。
							実績	8,256	人	9,791	人						
							達成率	41.3	%	49.0	%						
					新規設立NPO法人数	17法人 (R1年度)	目標	15	法人	15	法人	15法人 (毎年度)					
							実績	14	法人	11	法人						
							達成率	93.3	%	73.3	%						
13	④	NPO公益活動支 援事業	市民 活動 推進 課	市民活動の更なる促進を支援するため、NPO等が専門性を発揮して行う活動に対し、事業費の一部を補助する。	補助交付事業件数 （累計）	109件 (R1年度)	目標	130	件	140	件	150件 (R5年度)	2,389	2,694	2,300	順調	補助採択事業の事例紹介については、中間報告会を開催し事業周知に努めた。 また、補助交付事業件数は目標を概ね達成したため、「順調」と判断。
							実績	131	件	137	件						
							達成率	100.8	%	97.9	%						
					成果発表会の参加人数 （累計）	431人 (R1年度)	目標	580	人	630	人	680人 (R5年度)					
							実績	475	人	497	人						
							達成率	81.9	%	78.9	%						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 （千円）	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由		
					指標名等	現状値 （基準値）	R3年度		R4年度		中期 目標	予算額 （千円）			決算額 （千円）	
14	⑩	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	現状値	4件 (R1年度)	目標	5 件	5 件	5件 (毎年度)	3,221	2,566	2,095	大変 順調	多様な団体間のネットワークを構築し、協働件数が目標を大幅に上回っているため、「大変順調」と判断。
						実績	15 件	31 件								
						達成率	300.0 %	620.0 %								
15	④ ⑦	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	現状値	2,146人 (R1年度)	目標	2,250 人	2,500 人	2,750人 (R5年度)	816	1,206	1,029	順調	NPOとの協働についての研修への参加者数が目標を達成しているため、「順調」と判断。
						実績	2,476 人	2,540 人								
						達成率	110.0 %	101.6 %								
					運営改善団体数（累計）	現状値	3団体 (R1年度)	目標	9 団体	12 団体	15団体 (R5年度)					
						実績	8 団体	10 団体								
						達成率	88.9 %	83.3 %								
16	② ④ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	生物多様性戦略推進事業	環境監視課	都市と自然との共生「豊かな自然の恵みを活用し 自然と共生するまち」を基本理念に、生物多様性を保全し、将来にわたって持続可能な形で利用が可能な都市づくりを目指す。	環境首都100万本植樹プロジェクト推進（累計）	現状値	657,903本 (H27年度)	目標	904,000 本	937,000 本	累計 100万本 植樹 (R6年度)	14,457	14,013	13,717	順調	自然ネットだより等を活用し、自然環境保全活動の周知を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、多くの人が活動に参加した。 また、環境首都100万本植樹プロジェクトによる植樹本数（累計）について、目標には届かなかったものの、プロジェクト全体としては順調に推移している。 以上のことから、「順調」と判断。
						実績	750,223 本	784,926 本								
						達成率	83.0 %	83.8 %								
					自然環境保全活動参加者数（イベント等の延べ参加者数）	現状値	2,000人 (毎年度)	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)					
						実績	2,500 人	2,000 人								
						達成率	125.0 %	100.0 %								

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)			決算額 (千円)
17	④ ⑰	北九州環境みらい学習システム「ドコエコ！」推進事業	環境学習課	本市の恵まれた自然や充実した環境関連施設等と結びつけ、多世代の市民が意欲や能力に応じて、エコツアーなどまち全体で楽しく環境学習が行える仕組みづくりを行う。	アンケート調査における環境活動を行う市民の割合	65.7% (H23年度)	目標	85.0 %	85.0 %	95.0% (R12年度)	3,441	3,620	3,343	順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、エコツアーは縮小実施したが、参加者数は2,698人と令和3年度より約1,190人増となった。また、SNS等を通じた情報発信も継続的に行うことができ、成果指標の達成率も令和3年度より上昇するなど、一定の効果があつたため、「順調」と判断。
							実績	66.9 %	71.4 %						
							達成率	78.7 %	84.0 %						
18	④ ⑥ ⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	環境ミュージアム及び北九州エコハウス維持管理業務	環境学習課	北九州市の公害克服の歴史を伝えるとともに、世界の環境首都を目指して市民の環境力を高めるための環境学習・環境活動・環境情報の総合拠点である「環境ミュージアム」及び家庭での省エネ型のライフスタイルを提案する「北九州エコハウス」等の管理運営及び様々なイベント、企画等により、環境学習や環境活動の場を提供するもの。	環境学習サポーターによる出張ミュージアム回数	80回 (H26年度)	目標	360 回	360 回	360回 (R5年度)	75,031	77,087	75,383	順調	環境学習サポーターによる出張ミュージアムの回数が令和3年度に比べ増加した。 また、環境ミュージアム開館20周年イベントや、長期休暇を利用したイベントの開催により、利用者数の回復傾向がみられたため、「順調」と判断。
							実績	249 回	291 回						
							達成率	69.2 %	80.8 %						
					環境ミュージアム利用者数（単年度）	134,124人 (H26年度)	目標	130,000 人	130,000 人	130,000人 (R5年度)					
							実績	42,873 人	75,475 人						
							達成率	33.0 %	58.1 %						
19	④	環境人財育成事業	環境学習課	市民一人ひとりが環境との関わりを理解し、より良い環境・地域づくりへの意識をもって行動を起こすことのできる環境人財を育むため、「環境首都検定」をはじめとする施策に取り組む。	北九州市環境首都検定の受検者数	2,424人 (H26年度)	目標	5,500 人	5,500 人	5,500人 (R5年度)	12,748	13,567	11,762	順調	受検啓発については、会場等の閉館等があり、実施回数が8回と伸びなかったものの、令和3年度に引き続き、全受検区分でWeb受検を実施したことにより、受検者数の目標値を達成したため、「順調」と判断。
							実績	5,502 人	5,751 人						
							達成率	100.0 %	104.6 %						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由							
					指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)			決算額 (千円)						
20	④ ⑰	ESD活動支援事業	環境 学習 課	<p>持続可能な社会の構築を図るため、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育（ESD）」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、企業、大学等と連携しながら推進する。</p> <p>具体的には、あらゆる人々が地域等における様々な課題に気付き、つながり、既に行っている活動等にESDの視点を加えて、暮らしや社会のあり方を変えていく人づくり・学びあいの場づくりを進める。</p>	アンケート調査における「持続可能な社会づくり」を意識している市民の割合	—	目標	90.0 %	90.0 %	90.0% (R5年度)	19,174	20,179	19,619	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベントや会議が対面では実施できないこともあったが、オンラインでの会議や講演会を積極的に行うなど、事業の円滑な実施に取り組み、「持続可能な社会づくり」を意識する市民の割合増加につなげたため、「順調」と判断。</p>						
						実績	80.2 %	83.4 %													
						達成率	89.1 %	92.7 %													
21	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園 管理 課	<p>計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。</p>	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	2,617	2,750	2,617	やや 遅れ	<p>教室の開催数は、令和3年度同様目標を大きく上回っているが、依然として参加者数は目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。</p>						
						実績	886 人	985 人													
						達成率	44.3 %	49.3 %													
22	② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	市民環境力支援事業	環境 学習 課	<p>市民環境力の持続的発展を目指し、環境モデル都市を推進する活動への支援や、市民・NPO、事業者など地域社会を構成する各主体が、情報を共有し、新たな取組を生み出し、発信・啓発する北九州エコライフステージ事業などを行う。</p>	エコライフステージ参加者数（単年度）	142.4万人 (H24年度)	目標	150万人 以上	150万人 以上	150万人 以上 (R5年度)	12,606	12,207	11,690	順調	<p>3年ぶりの対面によるイベントやオンラインイベントを開催したことにより、市内の環境活動を広く情報発信することが出来た。令和4年度のエコライフステージの行事数と参加者数のどちらも、令和3年度の実績を上回ったため、「順調」と判断。</p>						
						実績	30 万人	90.9 万人													
						達成率	20.0 %	60.6 %													

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度		中期 目標	決算額 (千円)			予算額 (千円)
23	④ ⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	環境教育推進 事業	教育 情報 化推 進課	「SDGs未来都市」への選定を受け、SDGs環境アクティブ・ラーニングとして小学校4年生を対象とし、環境ミュージアムやエコタウン等関連施設での体験的な学習および環境教育に関する研究を推進することにより、環境教育の充実を目指す。	環境学習の実施校	129校 (R1年度)	目標 実績 達成率	129 校 28 校 21.7 %	129 校 107 校 82.9 %	全小学校 (126校) (R5年 度) (休校中 の学校を 除く)	4,227	14,629	11,887	順調	新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、希望した大方の小学校は、環境学習に参加することができたため、「順調」と判断。
24	③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮	アジアの環境 人材育成拠点 形成事業	環境 国際 戦略 課	アジアの途上国やその都市が自らの力で環境改善の取組を進めることができるよう、JICA等国の支援や連携により、実践的な国際環境研修事業を推進していく。 海外からの研修員を受け入れることにより、環境問題解決の一助を担うとともに、現地の環境改善や海外諸都市とのネットワーク構築、ひいては環境国際ビジネスへの事業展開に繋げる。	アジアの環境人材育成のための研修員等の受講者数（単年度）	1,209人 (H26年 度)	目標 実績 達成率	460 人 308 人 67.0 %	460 人 321 人 69.8 %	460人 (毎年度)	0	728	0	順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は全ての研修が遠隔での実施となった。下半期は来日研修を一部再開し、現地見学や体験等、研修内容の充実化を図ったため、「順調」と判断。
25	⑦ ⑨ ⑬	北九州水素プ ロジェクト創 出事業	グ リ ン 成 長 推 進 課	2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、水素利活用を促進する「水素供給・利活用拠点都市」の形成を目指し、事業可能性調査や技術開発に対する助成を行うとともに、市内・県内の水素関連技術を保有する企業の調査及びマッチング支援を行うことで、水素関連プロジェクトの早期創出を目指す。	北九州水素タウン来訪者数（単年度）	—	目標 実績 達成率	500 人 96 人 19.2 %	500人 (R3年度 まで毎 年度)	10,705	17,500	4,200	順調	関連産業の振興を目指し、水素センサーの開発の実証等、実証・PR拠点化推進に向けた取組を実施し、企業訪問回数が201回と目標（50回）を大きく上回った。また、事業可能性実施調査も予定どおり実施したため、「順調」と判断。	
					事業可能性調査実施件数	—	目標 実績 達成率	2 件 2 件 100.0 %	2件 (毎年度)						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 （千円）	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由				
					指標名等	現状値 （基準値）	R3年度		R4年度		中期 目標	予算額 （千円）			決算額 （千円）			
26	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑬	北九州市風力 発電人材育成 事業	再生 可能 エネ ルギ ー 導 入 推 進 課	<p>風力発電関連産業の総合拠点として、その機能を十分に発揮するには、人材の「育成」と「確保」が必要である。</p> <p>このため、「北九州市洋上風力キャンプ」を実施し、市内外の学生等の関心を高め育成を図るとともに、「北九州市風力発電人材育成連絡会」を通じた産学官の連携による人材の確保を目指す。</p>	人材育成に関わる関連企業、教育機関を含めた会議等の実施（累計）	—	目標 9 回	実績 21 回	達成率 233.3 %	24 回	39 回	162.5 %	54回 (R3～R6 年度)	3,049	45,000	32,737	大変 順調	「人材育成に関わる関連企業、教育機関を含めた会議等の実施数」の実績が目標を大きく上回ったため、「大変順調」と判断。
27	⑦ ⑧ ⑨ ⑫	脱炭素サプ ライチェーン支 援事業	環 境 イ ノ ベ ー シ ョ ン 支 援 課	<p>市内企業に対し、脱炭素経営を促すため、実際の成功事例の紹介などを行うセミナーを実施する。また、市内企業の環境に配慮した製品や技術、サービスから「北九州エコプレミアム」を選定し、広くPRすることで、市内環境関連産業の活性化を推進する。</p>	北九州エコプレミアム選定件数（単年度）	9件 累計190 件 (H26年 度)	目標 9件	実績 4件	達成率 80.0 %	5 件	4 件	80.0 %	累計240 件 (R6年度)	—	9,654	8,204	順調	<p>北九州エコプレミアムについて、単年度としては目標を下回っているものの、中期目標の累計240件に向かって、選定件数は着実に増加している。</p> <p>また、エコタウン事業の投資額については目標を上回る予定である。</p> <p>以上から、事業全体を総合的に勘案し、「順調」と判断。</p>
					エコタウン事業による投資額（単年度）	9億円 (H26年 度)	目標 7億円	実績 12億円	達成率 171.4 %	7 億円	12 億円	171.4 %	7億円 (毎年度)					
28	⑦ ⑧ ⑨ ⑫	環 境 イ ノ ベ ー シ ョ ン 促 進 事 業	環 境 イ ノ ベ ー シ ョ ン 支 援 課	<p>大学との連携やエコプレミアム認定品を切り口に、学生のうちから環境イノベーションに関係した企業や業務に触れる機会を作り、将来の環境イノベーションを担う人材育成に繋げていく。また、今後の脱炭素化の急激な社会情勢に対応していくためにも、脱炭素経営の認知度向上や意識付けを行い、地元企業の競争力強化に繋げていく。</p>	北九州エコプレミアム選定件数（単年度）	9件 累計190 件 (H26年 度)	目標 9件	実績 4件	達成率 80.0 %	5 件	4 件	80.0 %	累計240 件 (R6年度)	—	9,654	8,204	順調	<p>北九州エコプレミアムについて、単年度としては目標を下回っているものの、中期目標の累計240件に向かって、選定件数は着実に増加している。</p> <p>また、支援企業社数について、市内企業の脱炭素サプライチェーン支援事業を実施した結果、事業への応募が予定を僅かに下回ったことにより、目標を達成することができなかったものの、概ね予定していた企業数を支援することができた。</p> <p>以上から、事業全体を総合的に勘案し、「順調」と判断。</p>
					エコタウン事業による投資額（単年度）	9億円 (H26年 度)	目標 7億円	実績 12億円	達成率 171.4 %	7 億円	12 億円	171.4 %	7億円 (毎年度)					
					支援企業社数（累計）	—	目標 10社	実績 9社	達成率 90.0 %	10 社	9 社	90.0 %	30社 (R4～R6 年度)					

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 （千円）	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 （基準値）		R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 （千円）			決算額 （千円）
29	③ ⑥ ⑪ ⑫	産業廃棄物処 理推進事業	産業 廃棄 物対 策課	産業廃棄物の適正処理・3Rを推進 するため、優れた排出事業者・処理 業者への認定やインセンティブ付 与、排出・処理動向や将来見通しの 分析・公表、産業廃棄物3R・適正処 理講習会等を活用した適正処理・3R 情報の普及啓発を実施する。	優良産廃処理業者の 認定件数（単年度）	4件 (H26年 度)	目標	2 件	2 件	2件 (R1年度 以降毎年 度)	10,957	14,871	9,035	大変 順調	令和3年度から引き続き、会場及び Youtube配信による講習会を実施（受講 者数565名）し、産業廃棄物の適正処 理、3Rの推進について啓発を行った。ま た、優良事業者については6社を認定 し、優良産廃処理業者及び排出事業者の 育成に寄与したことから、「大変順調」 と判断。
							実績	3 件	5 件						
							達成率	150.0 %	250.0 %						
					優良排出事業者の認 定件数（単年度）	2件 (H26年 度)	目標	2 件	2 件	2件 (毎年度)					
							実績	1 件	1 件						
							達成率	50.0 %	50.0 %						
30	③ ⑥ ⑪ ⑫	環境対策事業	環境 監視 課	環境法令に基づき、大気汚染や水 質汚濁、騒音・振動の監視測定（環 境モニタリング）などを行い、環境 質の現状を把握し、維持・向上に努 める。 また、市内企業を対象に、環境モ ニタリング結果等を共有し、環境保 全を一層促進するため、環境モニタ リングの結果や環境法令の概要、ま た不適正事案の防止策等に関するセ ミナーを実施する。	現状の環境を保全	—	目標	—	—	現状の環 境を保全	32,288	47,947	46,340	順調	大気、水質、騒音、振動についてモニ タリング計画を立てて測定を実施し、現 状の環境の保全につながっていると考 えられるため、「順調」と判断。
							実績	—	—						
							達成率	—	—						
					企業の法令順守の徹 底	—	目標	改善命令 0件	改善命令 0件	改善命令 0件 (毎年度)					
							実績	0 件	0 件						
							達成率	—	—						
31	② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	環境施策広報 事業	環境 学習 課	世界の環境首都を目指す北九州市 の環境施策について、環境マスコット キャラクター「ていたん」を活用 した広報・PRを継続して行い、市民 の環境意識向上を図る。	アンケート調査にお ける環境マスコット キャラクターの認知 度	52.2% (H27年 度)	目標	65.0 %	65.0 %	65.0% (R5年度)	9,089	9,590	9,512	順調	令和3年度と比べ、イベント参加回 数、アンケート調査における環境マス コットキャラクターの認知度が、とも に増加している。また、認知度について目 標率を達成しており、施策に対して、一 定の効果があったものと考えられるた め、「順調」と判断。
							実績	66.5 %	67.7 %						
							達成率	102.3 %	104.2 %						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を 構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度		中期 目標	決算額 (千円)			予算額 (千円)
32	⑫ ⑰	環境国際協力 推進事業	環境 国際 戦略 課	<p>途上国技術者を受け入れる国際研修や経験豊かな市内企業技術者等を諸外国都市に派遣し、現地で相手都市も主体的に関わった実践的な技術指導を実施する。</p> <p>また、国内外の関係機関と協働・連携した調査、情報収集や発信を行うとともに、各種都市間ネットワークを活用したプロジェクトを実施する。更には、市内企業や国際機関等と密に連携して、協力対象国や都市の「緑の成長」にも資する環境国際協力を目指す。</p>	戦略的環境国際協力 事業の件数 (累計)	6件 (H26年 度)	目標	14 件	15 件	15件 (R5年度)	0	3,000	1,566	順調	<p>新型コロナウイルス感染症による出入国に係る水際対策の緩和により、現地派遣が再開し、オンライン協議と対面協議を活用して事業を進めた結果、「環境国際協力推進事業」の目標件数を達成したため、「順調」と判断。</p>
実績	14 件	15 件													
達成率	100.0 %	100.0 %													
33	⑧ ⑨	国際会議等 MICE事業の推 進	MICE 推進 課	<p>キーパーソン等へ本市の優位性（アクセス・施設・助成金）をPRするなどの誘致活動を展開することにより、本市での国際会議・大会等のMICE開催を目指す。</p>	MICE開催件数	183件 (H20年 度)	目標	300 件	300 件	300件 (R5年度)	97,849	156,520	129,524	順調	<p>令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、目標には達しなかったものの、令和3年度と比較してMICEの開催件数は大きく伸びたため、「順調」と判断。</p>
実績	117 件	205 件													
達成率	39.0 %	68.3 %													
34	⑰	アジア低炭素 化センター推 進事業	環境 国際 戦略 課	<p>アジア低炭素化センターを中核として、環境に関する多様な技術や社会システム等を海外に輸出することで、地域経済の活性化を推進する。</p>	アジア地域でのCO2 排出量を削減	—	目標	単年度目標設 定なし	単年度目標設 定なし	H25年度 の本市 CO2排出 量75%分 削減 (R12年 度)	12,331	24,549	15,152	順調	<p>アジア地域でのCO2排出量の削減に向けた各種プロジェクト推進数の累計が267件と、目標値の235件を上回っており、外部資金を活用しながらアジア地域の脱炭素に資する事業を積極的に展開していることから、「順調」と判断。</p>
実績	—	—													
達成率	—	—													

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)			
1	③ ① ⑫	大気汚染常時 監視システム 整備保守事業	環境 監視 課	大気汚染防止法第22条の規定に基づき大気汚染状況の常時監視を行うため、公害監視センターと市内に設置した常時監視測定局から成る測定網の整備・保守を行う。常時監視結果を本市の環境保全の推進に役立てるとともに、大気環境の現状把握に努める。	大気環境の適正な把握	—	目標 — 実績 — 達成率 —	— — —	— — —	大気環境の適正な把握	16,978	13,474	13,473	順調	測定装置の更新計画に基づき、適切に測定環境を整備し、正確な測定を継続実施したため、「順調」と判断。
2	③ ⑥ ① ⑫	環境対策事業	環境 監視 課	環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動の監視測定(環境モニタリング)などを行い、環境質の現状を把握し、維持・向上に努める。 また、市内企業を対象に、環境モニタリング結果等を共有し、環境保全を一層促進するため、環境モニタリングの結果や環境法令の概要、また不適正事案の防止策等に関するセミナーを実施する。	現状の環境を保全 企業の法令順守の徹底	— —	目標 — 実績 — 達成率 —	— — —	— — —	現状の環境を保全 改善命令0件(毎年度)	32,288	47,947	46,340	順調	大気、水質、騒音、振動についてモニタリング計画を立てて測定を実施し、現状の環境の保全につながっていると考えられるため、「順調」と判断。
3	③ ⑥ ① ⑫ ⑭	工場・事業場 監視事業	環境 監視 課	市内の工場・事業場に対し、大気汚染防止法・水質汚濁防止法等に基づいて、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施し、事業者の環境法令の遵守を監視するとともに、環境管理の取組の促進を図る。また、市民からの公害関係苦情・要望を受け、発生源に対する指導を行う。	公害に関する苦情・要望件数(単年度)	243件(H26年度)	目標 300件以下 実績 218件 達成率 127.3%	300件以下 222件 126.0%	300件以下(毎年度)	—	24,552	24,688	21,645	大変順調	公害に関する苦情・要望件数は、目標より大幅に少ないこと、工場・事業場に対する立入検査や行政測定を計画的に実施していること、事業者向けのセミナー開催等により苦情の未然防止を着実に推進していること等から、「大変順調」と判断。

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)			
4	⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑰	地球温暖化対策推進事業	グリーン成長推進課	令和3年8月に改定した「北九州市地球温暖化対策実行計画」に掲げた目標の着実な達成に向け、市民、事業者、行政がこれまで以上に計画的かつ効果的に取組を推進する必要があるため、各種調査及び啓発事業の強化等を行う。	温室効果ガス排出量の削減（万t）	温室効果ガス排出量 1,859万 ↑ (2013年度)	目標 単年度目標設定なし	実績 —	単年度目標設定なし	2030年度温室効果ガス排出量2013年度比47%減	9,851	7,846	4,038	順調	温室効果ガス排出量については、毎年減少傾向を維持している。 また、出前講演の参加者数（累計）が目標（5,250人）を達成するなど、市民に対し、年間を通じた啓発事業を実施した。 以上を総合して、「順調」と判断。
5	⑦ ⑧ ⑨ ⑩	脱炭素社会の実現に向けた ☛再エネ100% 北九州モデル ☛推進事業	再生可能エネルギー導入推進課	脱炭素社会の実現に向けて、 ・公共施設群及びエコタウンの再エネ100%電力化 ・EVを活用した自律型エネルギー実証 ・北九州都市圏域への再エネ普及促進 ・バイオマスエネルギー等活用推進 ・市有施設のZEB化に取り組む。	PV・風力等再エネ導入量（kW・累計）	0kW (R3年度)	目標 —	実績 —	512,980 kW	756,946 kW (R12年度)	—	1,052,000	14,442	順調	国の交付金を活用した再エネ導入事業について、半導体不足などの影響もあり、令和5年度に完工することとなったが、設備の導入は進んでいる。また、再エネの導入量は、目標の8割以上を達成したため、「順調」と判断。
					C02削減量（t）	0t (R3年度)	目標 —	実績 —	496,000 t	累計 3,113,743tC02 (R4～R12年度)					
6	①	橋梁・トンネル・モノレール等の長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネル、総延長約9kmのモノレールがあり、高齢化・老朽化が進行していることから、予防保全の観点での長寿命化事業に取り組んでいる。 事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」 ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」 ・「北九州モノレール長寿命化計画」	主要橋梁及びトンネルの健全性向上による市民の安全・安心の確保	—	目標 —	実績 —	—	全主要橋梁及びトンネルの健全性Ⅱ以上（R9年度）	4,233,721	1,965,000	2,496,412	順調	橋梁、トンネルのリニューアル及びモノレールの長寿命化に向けた取組は、概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。
					インフラ構造物の長寿命化を実施による、モノレールの安全・安心な運行の確保	—	目標 —	実績 —	—	全インフラ構造物の健全性Ⅱ以上（R8年度）					

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)		
7	①	老朽空き家等 除却促進事業	空き 家活 用推 進課	倒壊や部材の落下のおそれがある など危険な空き家等の除却を促進す るため、建築物の除却に要する費用 の一部を補助することにより、市民 の安全で安心な居住環境の形成を図 る。	老朽空き家等除却 促進事業の実施件 数	202戸 (H26年 度)	目標 260 戸 実績 339 戸 達成率 130.4 %	290 戸 358 戸 123.4 %	300戸 (毎年 度)	89,212	100,000	94,698	大変 順調	当事業に対する市民からの関心が高 く、除却戸数が目標を上回るこ とが出来たため、「大変順調」と判 断。
8	①	空き家等活用 推進事業	空き 家活 用推 進課	近年増加傾向にある空き家に対 し、市民の安全・安心を確保するた め、空き家等発生の未然防止から、 流通・活用等の促進に至るまで、 「空家等対策計画」に基づき総合的 な空き家対策を推進する。	空き家に関する相 談件数	—	目標 300 件 実績 404 件 達成率 134.7 %	300 件 336 件 112.0 %	300件 (毎年 度)	1,696	1,800	1,614	順調	空き家の予防及び管理・活用等に関 するリーフレット及びチラシの配布、 市内でのセミナー・相談会の複数回開 催等を行ったことにより、空き家に関 する普及啓発が図られ、相談件数が目 標を上回ったため、「順調」と判断。
9	①	空き家等面的 対策推進事業	空き 家活 用推 進課	個々の空き家のみでは敷地が狭く 進まない再整備を、複数の空き家を 面的にまとめることにより進めるも ので、市が空き家所有者を住宅事業 者につなぎ、建替えやリノベーション を推進する取組を実施する。	建替えやリノー ベーションによる 空き家の解消、 空き家問題の 予防啓発や 総合相談を行 うことによる 空き家の 解消	—	目標 単年度目標設 定なし 実績 — 達成率 —	単年度目標設 定なし — —	—	9,451	16,000	12,111	順調	効率的・効果的に事業を行うため、 適宜、見直しを図ることで、空き家等 の売却に係る成約数を伸ばしており、 空き家解消につながっていることか ら、「順調」と判断。
10	①	老朽空き家等 対策推進事業	空き 家活 用推 進課	人口減少や高齢化等が進む本市 においては、今後も、適正に管理され ず、周辺の居住環境に悪影響を及ぼ す老朽空き家等の増加が続くことが 見込まれることから、平成28年に制 定した「空家等の適切な管理等に關 する条例」及び同年策定した「空家 等対策計画」に基づき、老朽空き家 等対策の強化を図る。	老朽空き家に関す る相談・通報件数	167件 (H26年 度)	目標 500 件 実績 823 件 達成率 164.6 %	500 件 986 件 197.2 %	500件 (毎年 度)	7,351	19,161	5,726	大変 順調	効果的な普及活動により、相談・通 報件数が目標を大幅に上回ることが 出来たため、「大変順調」と判断。

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)			
11	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑬	環境首都総合 交通戦略の推 進	都市 交通 政策 課	<p>環境首都総合交通戦略は、本市での望ましい交通体系を構築するため、既存の公共交通機関を有効活用し、その維持や充実・強化を図る。過度なマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通や徒歩・自転車への利用転換を図り、市民の多様な移動手段が確保された交通体系を構築することを目指す。</p>	市内の公共交通人口カバー率	基準値 80% (H17年 度)	目標 単年度目標設 定なし			計画改 定 (R3年 度末)	73,827	213,423	131,099	順調	
					市内の公共交通分担率	基準値 20% (H17年 度)	目標 単年度目標設 定なし			計画改 定 (R3年 度末)					
					自家用車CO2排出量の削減(H17年度比)	基準値 69.7万 +CO2 (H17年 度)	目標 単年度目標設 定なし			計画改 定 (R3年 度末)					
					市内の公共交通人口カバー率	基準値 86% (R3年 度)	目標 単年度目標設 定なし		86% (R8年 度)						
					人口10万人あたりの公共交通利用者数	基準値 3.8万人 /10万人 (R1年 度)	目標 単年度目標設 定なし		3.8万人 /10万人 (R8年 度)						
					公共交通に対する満足度	基準値 66.1% (R2年 度)	目標 単年度目標設 定なし		70% (R8年 度)						
					運輸部門CO2排出削減率	基準値 172万+ CO2 (H25年 度)	目標 単年度目標設 定なし		104万+ CO2 (R12年 度) 40%削減						

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)		
12	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑬	環境首都総合 交通戦略の推 進（おでかけ 交通）	都市 交通 政策 課	おでかけ交通事業は、公共交通空白地域の中で一定の需要がある地域において、地域住民の交通手段を確保するため、採算性の確保を前提として、地域住民、交通事業者、市の三者がそれぞれの役割分担のもとで連携して、ジャンボタクシー等を行う。	既運行地区におけるおでかけ交通の維持	8ヶ所 (H25年度)	目標 8ヶ所 実績 9ヶ所 達成率 112.5%	8ヶ所 9ヶ所 112.5%	10ヶ所 (R5年度)	73,827	213,423	131,099	順調	三者（地域住民、交通事業者、市）で逐次調整・協議を行い、安定・安全運行の確保に努め、運行の維持ができたため、「順調」と判断。
13	⑫	広げよう食品 ロス・生ごみ 削減の環づく り事業	循環 社会 推進 課	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動の普及・啓発や、生ごみリサイクル講座等の実施によって、生ごみの減量化・資源化を推進する。	市民アンケート調査における3R活動の実施率	468g (R1年度)	目標 単年度目標設定なし 実績 462g 達成率 —	462g 452g —	440g以下 (R7年度)	7,047	7,800	6,354	順調	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動を継続して実施し、食品ロス削減の取組実施率は、中期目標の概ね8割程度達成しており、市民の環境意識向上や、生ごみの資源化・減量化の促進に貢献していると考えられることから、「順調」と判断。
			市民アンケート調査における食品ロス削減の取組実施率	86.9% (H28年度)	目標 86.9% 実績 85.7% 達成率 98.6%	86.9% 86.9% —	86.9% (毎年度)							
			市民アンケート調査における食品ロス削減の取組実施率	58.3% (R1年度)	目標 — 実績 61.6% 達成率 —	— 61.6% —	80%以上 (R12年度)							

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)		
14	③	若者ワーク プラザ北九州運 営事業	雇用 政策 課	若年者の就業支援の拠点として「若者ワークプラザ北九州」及び「若者ワークプラザ北九州・黒崎」において、就業相談、セミナー、職業紹介等を実施し、若年者の就業を促進する。	就職決定者数	1,360人 (H30年 度)	目標 1,300 人 実績 931 人 達成率 71.6 %	1,300 人 934 人 71.8 %	1,300人 (毎年 度)	78,388	80,410	78,096	順調	カウンセリング利用者数が令和3年度に比べ減少（12,218人→9,900人）したものの、就職決定者数は増加したため、「順調」と判断。
15	③ ④ ⑤	高年齢者就業 支援センター 運営事業	雇用 政策 課	高年齢者就業支援センターを拠点として、高年齢者に対し就業支援を実施する。また、就業に関連するセミナーを実施する。	中高年齢者の就職者数	768人 (H30年 度)	目標 700 人 実績 837 人 達成率 119.6 %	700 人 900 人 128.6 %	3,500人 (R2～R6 年度)	32,538	32,984	32,501	大変 順調	延べ利用者数が令和3年度に比べ減少（9,792人→8,644人）したものの、シニア・ハローワーク戸畑等、関係機関との円滑な連携の結果、中高年齢者の就職者数は令和3年度及び目標を大きく上回ったため、「大変順調」と判断。
16	⑦ ⑧ ⑨ ⑫	脱炭素サプ ライチェーン支 援事業	環境 イノ ベー ション 支 援課	市内企業に対し、脱炭素経営を促すため、実際の成功事例の紹介などを行うセミナーを実施する。また、市内企業の環境に配慮した製品や技術、サービスから「北九州エコプレミアム」を選定し、広くPRすることで、市内環境関連産業の活性化を推進する。	北九州エコプレミアム選定件数 (単年度)	9件 累計190 件 (H26年 度)	目標 5 件 実績 4 件 達成率 80.0 %	5 件 4 件 80.0 %	累計240 件 (R6年 度)	—	9,654	8,204	順調	北九州エコプレミアムについて、単年度としては目標を下回っているものの、中期目標の累計240件に向かって、選定件数は着実に増加している。また、エコタウン事業の投資額については目標を上回る予定である。以上から、事業全体を総合的に勘案し、「順調」と判断。
				エコタウン事業による投資額（単年度）		9億円 (H26年 度)	目標 7 億円 実績 12 億円 達成率 171.4 %	7 億円 12 億円 171.4 %	7億円 (毎年 度)					

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)		
17	⑩	農作物生産振 興対策事業	農林 課	農業者が農業に関する正しい知識 を理解した上で、適正に使用し、安 全な農産物を生産する状態にする。	農作物の安全・安 心確保（GAP〔農業 生産工程管理〕に 取り組む生産組織 の割合）	12% (H27年 度)	目標 60 %	実績 51.6 %	60% (R5年 度)	732	1,101	323	順調	GAPに取り組む生産組織の達成率が 86%であるため、「順調」と判断。
18	⑦ ⑧ ⑨ ⑫	環境未来技術 開発助成事業	環境 イノ ベー ション 支 援課	新規性、独自性に優れた環境技術 の研究開発費の一部助成により、中 小企業をはじめとした地元企業等に 技術開発の機会を提供するととも に、本市における環境分野の技術の 集積を促す。	本助成事業で助成 した研究開発の事 業化数（累計）	27件 (H26年 度)	目標 38 件	実績 40 件	40件 (R5年 度 まで)	18,315	50,000	38,310	順調	令和4年度までの助成件数（累計）の うち、事業化した件数は令和3年度と同 程度になる予定。 また、採択状況についても、着実に 件数を伸ばしていることから、「順 調」と判断。
19	①	アジア低炭素 化センター推 進事業	環境 国際 戦略 課	アジア低炭素化センターを中核と して、環境に関する多様な技術や社 会システム等を海外に輸出すること で、地域経済の活性化を推進する。	アジア地域でのCO2 排出量を削減	—	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	H25年度 の本市 CO2排出 量75% 分削減 (R12年 度)	12,331	24,549	15,152	順調	アジア地域でのCO2排出量の削減に向 けた各種プロジェクト推進数の累計が 267件と、目標値の235件を上回って おり、外部資金を活用しながらアジア地 域の脱炭素に資する事業を積極的に展 開していることから、「順調」と判 断。

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)			決算額 (千円)
20	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	海外水ビジネスの推進	海外 事業 課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。</p>	市が関与するビジネス案件数	—	<p>目標</p> <p>6 件</p> <p>6 件</p>	<p>実績</p> <p>6 件</p> <p>12 件</p>	<p>海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献</p>	49,131	114,075	82,717	<p>大変順調</p>	<p>現在カンボジアやベトナムを中心に進めている国際技術協力を通して築いた信頼関係を土台に、官民一体となり、海外水ビジネス案件や北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業への受注に繋げている。</p> <p>実績として、令和4年度はカンボジアでビジネス案件を12件受注したため、「大変順調」と判断。</p>
							<p>達成率</p> <p>100.0 %</p> <p>200.0 %</p>							